

北見武道通信

ニュースレター【事務局情報】 **北見市武道振興協議会役員会開催予定**

2月2日(月)午後6時30分ちゃんこ友綱に於いて平成27年度北見市武道振興協議会(武藤弘司会長)役員会が行われる予定です。※役員各位には案内済み。

【柔道情報】北見市武道館で北見市柔道協会の通常合同練習開始しました。

1月16日より北見市武道館(道場1)に於いて平成27年の通常合同練習(稽古)が始まりました。お正月休みで鈍りかけている身体を準備体操の他に色々な補強運動で引き締めてから、怪我をしないように受身を揉捻に行い、徐々にスタートしている様子うかがえます。子供たちは楽しそうに久々の柔道着姿で畳に感触をつかんでいました。この合同練習には網走市の少年団も参加しており友達も広がっています。



【柔道情報】北見市東陵中学校1年生が初めての柔道体育授業を行いました。

1月19日(月)北見市東陵中学校1年生が初めての武道必修で柔道体育授業を行いました。ほとんどの生徒は柔道の経験はなく、初めて柔道着に手を通し、着方や帯の結び方から真剣になっていました。



連載 「武道宝鑑」 第1弾 野間清治 <武道の徳>

<武道の徳>11-⑧

太刀は無くとも、心が出来て居ればよい。剣と剣の戦いでもなく、腕と腕の戦いでもなく、『心と心』の戦いである。丁々発止の響はなくとも、丁々発止の響以上のものが、この間に在るのである。『我は大納言であるぞ』という古人の訓えは、敵を小者と侮るのではない、我の腹を斯の如く持つべきを訓えているのである。気がまえ、腹がまえである。さらに敵が大納言である場合、『我は大將軍であるぞ』というが如き訓えは、我々の處世の上にどんなに役立つかわからない。尚、先手先手の考へ、先先の先の考へ、攻勢の考へ、捨て身の考へ、懸待一致の考へ、敵の刀を抑える、敵の心を抑える、苦手苦手と修行すれば、遂に苦手無きに到るなどという訓えも亦我々日常の間に處世の上にどんなに役立つかわからない。弟子は、ある意味に於いて、師の師である。及ばざる敵に対しては、ただ身を捨てるの一手あるのみ。勝の中に敗けがある、敗けの中に勝がある、千策萬術も懸引としてある程度其の必要を認めぬ事もないが、小手と見せて面を打つというような事は、一段上手からは直ぐ看破られて、拙なき戯れとしか思われぬ、世上の権謀術数の如く低い程度の事しか考えられなくなる。